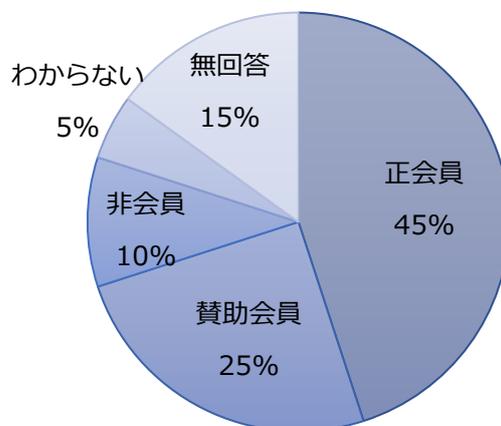


2020年2月23日 障害者団体交流会 アンケート結果
回答数 20人

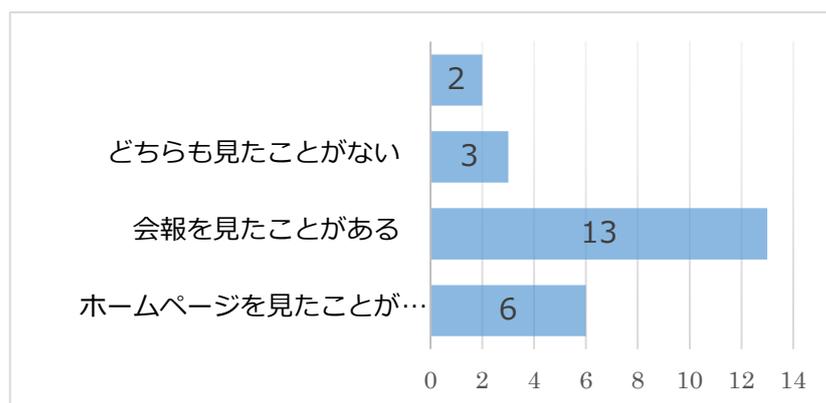
1 あなたが活動している団体は、小牧市障害者団体連絡会に加入していますか。

正会員	9
賛助会員	5
非会員	2
わからない	1
無回答	3



2 小牧市障害者団体連絡会の活動について見たことがあるものを選んでください。（複数可）

ホームページを見たことがある	6
会報を見たことがある	13
どちらも見たことがない	3
無回答	2



3 今日の交流会について自由に感想を書いてください。

(1) 実践報告について

- ・うたこさんが生まれたあとのお話もあらためて聞くことができとても良かったです。そして、しきの会の取り組みも少人数だけれどもパワフルでいろんな人に輪が広がっていくことがステキだと思いました。
- ・障害者(児)に会ったことがないから、社会の理解が進まないのは本当と思う。もっと障害者が街に出る工夫が必要と思った。関さんの活動はすばらしいと思う。
- ・内容がすごくわかりやすく、毎日の生活が本当に大変な中で、準備おつかれさまでした。大切なキーワードがたくさんあったので、原稿のコピーがほしいです。
- ・具体的に話されとても分かりやすく良かった。ひとつひとつ受け止めながら前へ進んでいくのが感じられた。

- ・障害者への差別や偏見などの声を聞くと、やっぱりしんどかったりするが、外への発信は必要。
- ・良かった。
- ・他の団体の方々の情報が知れて良かったです。
- ・当事者やその家族の言葉はとても重く、でも前向きに活動してみえる報告に、わたしにできることで協力していきたいと思いました。
- ・当事者、その家族として楽しく参加させていただいていますが、主催側の大変さがよくわかりました。課題に対してどう考え、取り組んでいくか、様々な面からの意見が聞けて良かったです。
- ・大きなイベントを開催していて、多くの人に情報を発信していて参考になった。
- ・うた子さんを通じて、お母さんが地域の方々に理解をしてもらえる様に一つ一つの課題に取り組まれた過程をお聞きし、本当に感動しました。
- ・しきの会のことが多くの活動団体に伝えられるありがたい機会でした。
- ・うたこちゃんとともに成長しておられた親御さんの様子が分かり、すてきでした。
- ・大きなイベントをやってみえる事がわかりました。
- ・傍から見て判らないことがたくさんあるのですねー。聴いてみてびっくり。
- ・告知の難しさへの回答、メンバーを募ることの難しさなど、団体の悩みは共通してる点が多かった。
- ・とても分かりやすく良かった。
- ・楽しく交流できました。
- ・お子さんの障害がわかったとき、そして地域の中で暮らしていこうと覚悟を決めたとき、きつとご夫婦でたくさん話し合っ、乗り越えてこられたのだろうなと思いました。「休みの国」については、しきの会のセンスの良さや、明るく楽しい雰囲気がイベントに反映されていて、そうした魅力がまわりを巻き込んでいくのだと感じました。

(2) グループワークについて

- ・あらためて、しきの会から学ぶこともできましたし、他のグループ(団体) の話をたくさん聞くことができました。小さい団体もとてもがんばっているの、つながって広がるとよいし、市民に向けても外へ出ていけるとよいという話となりました。
- ・企画して、チラシ配布の方法などが聞けて良かった。
- ・他団体の活動内容がよくわかり、イベントに協力してもらえるつながりができる良い話し合いになった。困っている団体が何に困っているか明確にしていることで、意見交流が進みました。
- ・各団体の得意分野があり、新しく知ることがたくさんありためになりました。
- ・知らなかったことが聞けて良かった。楽しかったです。
- ・他の団体とつながること、知ってもらうことが大切！→なかなかやれない。横のつながりをもっと広げたい。情報発信は外と内とに向けて考えていく必要がある。
- ・良かった。
- ・自分たちの活動や課題を伝えることで、改めて自分たちの課題を考え直すことになった。
- ・他団体の方と話す機会がないので、今日は参加してよかった。また企画してほしいです。
- ・“バリアフリー”について良くも悪くもこの言葉の使い方、伝え方ひとつで関心に違いがでてるのだなあと、別の視点で考えることができました。
- ・その立場によっていろいろな活動を知ることができて良かった。

- ・行事のPRの仕方。
- ・バリアフリーについて。
- ・各々が持つ「バリアフリー」「当事者」「支援者」観を確認でき、自由に意見を出せる場となっていてよかった。一回では前に進めれる話までいけないよなとも思った。
- ・時間が足りないくらい、活発に意見交換できました。
- ・色々な意見が聞けて良かったです。
- ・こういう機会はなかなかないので、皆さん、いろいろ実践をされている貴重な経験をお話いただき、いろいろ反省する点もあります。
- ・他団体の意見が聞けるのは貴重でした。今後の活動の課題も見えてきました。
- ・全障研かざぐるまさん、しきの会さんのお話の中で、今まで知ることのなかった事がいろいろありました。これからの障害者団体として活動を考えさせられました。
- ・自由に意見が言えて良かった。
- ・活発に意見交換ができて良かったと思います。グループ発表の内容からもそう感じました。誰かに発言が偏ることなく、みなさんが同じように発言できたことが良かったです。

4 今後の小牧市障害者団体連絡会について、どのような活動を期待するか自由に意見を書いてください。

- ・今日のようにお互いを知りながら自分の団体に反映させることができることは大事だし、知り合いになってつながっていくことができると良いと思いました。12月9日に何かをするというのも一度考えてみてはと思いました。
- ・年に1回くらいは未入会の団体へも誘って集会が持てると良い。これからぼちぼちつながっていけると良いと思った。
- ・今回のような話し合いの場を重ねていくことが大切かなと思いました。
- ・みんなが元気になるようなイベント。
- ・他の団体との交流もまた行ってください。また参加したいです。
- ・団体同士の連携をお願いしたいです。
- ・いろいろな団体とのつながり作りを考えて続けて頂きたいです。
- ・ボランティアが必要なイベントをするときは、各団体に協力していただけると良い。
- ・団体同士の交流会を通し、お互いのグループを知ることの大切さ。
- ・情報発信の大切さ。
- ・連絡会の大切さ。
- ・勉強会みたいにして、こうした集まりを増やすと、都度様々な意見がかわせ、小牧市民に向け、障がい者各団体はこう考えています！！という一本化したメッセージが発せていけるかもしれない。それはおもしろいのでは。これまでないから。
- ・情報の発信、開かれた団体になってほしい。
- ・面を広げるか、深度を深めるか、難しいところ。できることから順にやっていたらよいと思う。
- ・連絡会を通して他団体と密な交流がマッチングできる場として設けてもらいたい。
- ・広く情報発信。例えば市の協力（広報）を強く願います。
- ・今後も長く交流会を続けてほしい。
- ・今回、UDトークを通して聴覚に障害のある方への理解を深めることができたと感じました。

交流会では、こうしたツールや道具を通して、様々な障害を理解する場になればと思いました。

5 UD トークについて、感想、意見を自由に描いてください。

- ・今回の企画で初めて知ったという方もみえて、少しずつ広がっていくことが大切と思いました。また「グーグルの文字・音声変換」だともっと早く、誤変換も少ないことも学びました。
- ・まだ改善の余地がありそう。単語登録をもっと利用したらよいと思いました。
- ・初めて UD トークの存在を詳しく知り、有効活用できると思いました。
- ・要約筆記の方 2 名のフォローがあると、ほぼ現行通りの変換になり、報告書がそのままできあがり良いですね。
- ・初めて見ました。コミュニケーションをとるのにとても助かると思いました。他の方にも、こういう物があることを知らせていきたいと思いました。
- ・UD トーク、初めて見ました。会話とほぼ同時に文字になるのすごいなと思いました。変換が難しいところもあるようですが・・・もっと精度が上がると良いですね。話す方が気を付けたほうが良いこともあるのかな・・・。
- ・とても興味があり、知りたいと思います。
- ・有効に活用して頂きたいし、広まっていくといいなあと思います。
- ・わかりやすく良かったです。福祉の場でなく、学校でも使っていけるととても良いと思いました。
- ・他の団体の活動が少し理解できてよかったと思います。UD トークをもっと使う機会があると良いと思います。
- ・初めてみました。大変すばらしい。聴覚障害者の方々に、これからは必要な機械だと思う。大変便利ですね。料金的にもう少し安くなると良いですね。
- ・すばらしいの一言。広まれば、たくさんの方が（障がい者のみならず）文を目で追うことで、深く話し手の想いがつたわと思う。
- ・誤変換が少なくて分かりやすかった。
- ・言葉の返還が難しいところが改善されると良いと思いました。
- ・いやー、面白いですね。初めての経験です。いつも要約筆記をやってもらって助かっていますが、目が追い付かない事があります。
- ・とても興味深いアプリだと思いました。様々な利用の仕方を考えて見たいし、活用もしてみたいです。
- ・ゆっくり、はっきり話しているつもりでも、なかなか伝わらずに難しかった。
- ・UD トークを使ってグループワークをしました。発言する人は最初に名前を言って、ゆっくり話すよう心掛けました。それでも、聴覚障害のある方が一生懸命画面を目で追っている様子を見て、聞いて理解するのと読んで理解するのでは、かかる時間が違うとあらためて感じました。また、なかなか思うように単語が変換されない時などは、UD トークだけに頼らず、書いて伝えても良かったと、あとで思いました。便利な道具ですが、ちょっとした配慮も大切だと思いました。